美　唄

春は名のみの風の寒さや

3月28日(火)“寿楽”にて美唄歯科医師会臨時総会が開催されました。本年は執行部，役員の改選期にあたりましたが，宝崎会長が一期目のこともあり，「さらなる飛躍が期待されるのは二期目から」との雨田元会長の激励のもと，全員一致で続投をお願いすることとなりました。

真正面から懸案に対処した一期目は，折から介護保険の本年4月からの導入のための準備期ともあいまって，大変お忙しかったようですが，宝崎会長の「諸先生のご協力と，結束のもとに」との所信のもとにさらなる一歩を踏み出すこととなりました。

この日には併せて4月からの保険点数改正と介護保険についての解説が行われました。

（小森英世記）

それだけが頼りなのに

3月に入ってから降り続いた季節外れの大雪で美唄地方では平年に比べて残雪の多い春を迎えている。岩見沢測候所によると，根雪のなくなる根雪終日は，平年の4月6日に比べて10日から2週間前後遅れる見通しで，春の農作業への影響が懸念されている。2月末までの累計降雪量は平年より67cm少ない604cmだったが，3月1～20日まで平年の同時期と比べ2～3倍に当たる137cmの降雪を記録。空知支庁農務課では，雪解けの大幅遅れで融雪促進対策本部を設置した昨春の再来を懸念しており，昨年多発した秋まき小麦の雪腐れ病が心配されているという。敵中横断三百里のロケの行われた空知地方だけに，大雪は止むを得ないとあきらめきれない程に，春の農作業の遅れが懸念されること切である。　　　　（雨田　実記）